

【令和5年ゴールデンウィーク期間中の主要観光地観光客数について】

●県内全体の概況

今年のゴールデンウィーク期間（4/29（土）～5/7（日）の9日間、5月に5連休）は、行動制限のない大型連休となり、統計をとった主要観光施設26施設の1日平均入込客数は48,616人（前年比105.8%（10日間・3連休×2回）、2019年比57.9%（10日間・10連休）、2018年比69.7%（9日間・3連休+4連休））となり、前年比を上回った施設は26施設中14施設であった。

なお、全体の入込客数は合計437,540人（前年比95.2%、2019年比52.1%、2018年比69.7%）となった。

●エリア別の概況

○東予地方

入込客数の1日平均は13,571人（前年比106.9%、2019年比57.8%、2018年比68.8%）となり、マイントピア別子、あかがねミュージアム、タオル美術館、マリノオアシスはかた、今治城は前年比を上回り、マイントピア別子は県内一の伸び率（33.8%増）となった。

○中予地方

入込客数の1日平均は19,792人（前年比109.6%、2019年比51.8%、2018年比65.3%）となり、松山市の施設は全て前年比を上回り、中でも松山城ロープウェイが中予地方で最も高い伸び率（25.9%増）となった。

○南予地方

入込客数の1日平均は15,253人（前年比100.3%、2019年比68.4%、2018年比77.5%）となり、中でも大洲まちの駅あさもやが、南予地方の前年比で最も高い伸び率（20.8%増）となった。

『出典・引用：愛媛県庁ホームページ』

<https://www.pref.ehime.jp/h14500/jica/0509gw.html>

今年のGW期間中は晴天に恵まれ、観光地は多くの観光客で賑わい、コロナ禍前のような光景が見られました。経済効果も少しずつではありますが以前に比べて回復がみられ、更なる集客が期待出来ます。

不動産市況においても、経済の回復が今後どのように影響していくのか注視する必要があります。あなぶき不動産流通では、不動産全般の売買仲介に加え不動産買取も致しております。不動産のご売却・ご購入に関する事等、何でもお気軽にお問合せください。